



なぎちょう
奈義町

9月議会

議会だより



山の駅から見上げた那岐山

172号

令和6年11月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会

〒708-1392

岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1

☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 9月定例会・臨時議会で決まったこと 2～3ページ
- 総務常任委員会、まちづくり常任委員会、
決算特別委員会報告 4～6ページ
- 一般質問（9名） 7～15ページ
- 岡山県町村議会議員研修会、DX研修、表紙の紹介、編集後記 16ページ

うえ認定

令和6年第3回定例議会が9月4日から20日まで開かれ、**条例**3件、**補正予算**7件、**決算**10件、**契約**2件、**報告**3件、**陳情**1件、**意見書**1件、**その他**2件の合計29件を審議しました。

《 条例 》 3件

議案	概要と質疑等	審議の結果
奈義町空家の適正管理に関する条例の一部を改正する条例	国の法改正に伴い、新たに「管理不全空家」を定義する等の改正を行うもの。 緊急安全措置と本人同意について質疑があった。	全員一致で可決
奈義町国民健康保険条例の一部を改正する条例 その他1件	マイナンバーカードの運用に伴い関係する条例の一部を改正するもの。	全員一致で可決

《 補正予算 》 7件

議案	概要と質疑等	審議の結果
令和6年度奈義町一般会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算の総額に253,000千円を追加し、7,083,000千円とする。 9月定例議会でA L Tの財源の手当が行われていない、等の質疑があった。	賛成7、反対2で可決
特別会計	国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など6件	全員一致で可決

《 決算 》 10件

決算	概要と質疑等	審議の結果
令和5年度奈義町一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入総額 7,885,239千円 歳出総額 7,584,453千円 繰越財源額 29,773千円 実質収支額 271,012千円 2人が討論を行った。下記に紹介。	賛成8、反対1で認定

反対討論 森藤 政憲／こども園の大きな事業費、ムダと思われる地方創生事業費など認められない。

賛成討論 野々上美智明／5年度末で起債残高より基金残高が2.7億円上回り、問題ない。

決算	概要と質疑等	審議の結果
特別会計	国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など6件	全員一致で認定
公営企業会計	上水道事業会計、下水道事業会計など3件	

《 契約 》 2件

議案	概要	審議の結果
奈義小学校外壁塗装工事請負契約の締結について	奈義小学校外壁塗装工事 相手方：(株)森藤工業 1億6,720万円	賛成8、反対1で可決
奈義中学校備品購入に係る物品売買契約の締結について	奈義中学校（Ⅱ期工事）備品一式購入 相手方：日笠商事(株) 1,133万円	全員一致で可決

9月 定例議会

令和6年
9月4日～20日

令和5年度決算10件を 充分審議の

《報告》3件

議案	概要
令和5年度奈義町の財政健全化判断比率の報告について 他2件	財政健全化判断比率、公営企業資金不足比率、出資法人の経営状況について、適正かつ良好な運営であるとの報告があった。

《陳情、意見書、その他》4件

議案	概要	結果
陳情	介護保険の訪問介護基本報酬引き下げの撤回を求める陳情書（委員会審査報告）	全員一致で採択
意見書	介護保険の訪問介護基本報酬引き下げの撤回を求める意見書（案）の提出について	全員一致で可決
その他	岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	全員一致で可決
	所管事務等の調査について	

第4回 臨時議会（令和6年8月2日）

《契約》2件

議案	概要と質疑等	審議の結果
事務用端末整備業務に係る物品売買契約の締結について	事務用端末整備業務 相手方：(株)アイアットOEC 1,277万円	全員一致で可決
奈義小学校エレベーター設置工事請負契約の締結について	奈義小学校エレベーター設置工事 相手方：(株)森藤工業 7,810万円	全員一致で可決

第5回 臨時議会（令和6年10月8日）

《補正予算》1件

議案	概要	審議の結果
令和6年度奈義町一般会計補正予算（第4号）	歳入歳出予算の総額に衆議院議員選挙に伴い5,500千円を追加した。	全員一致で可決

《報告》1件

議案	概要
専決処分の報告（法面対策工事請負変更契約の締結について）	法面対策工事（町道梶並線） 相手方：森安建設(株) 元契約金 5,830万円 変更契約金 5,852万円 （差引増 22万円）

委員会報告

総務常任委員会

総務常任委員会は、総務課、税務住民課、こども・長寿課、出納室、学事課、生涯学習課、学芸図書課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：岡 立 ■副委員長：野々上美智明 ■委員：岡部英生・森藤政憲・小阪四郎

【総務課】

行財政改革実施計画策定について

- Q** 策定委員を選ぶ基準は。公募はあったのか。
- A** 各種団体の長、男女、年齢などのバランスを考えて決めた。12名の委員のうち2名が公募。

【税務住民課】

共同墓計画について

- Q** 利用者をどのように想定しているのか。
- A** 町内に住所や本籍があり、宗教を問わず、身寄りのない人などを考えている。

【学事課】

中学校について

- Q** 現在工事中の北側の広場はどんな計画か。
- A** 中央に遊歩道ができ、少し植栽もして、一般の方も利用できる身近な中学校のエントランスを考えている。



工事中の中学校エントランス

【こども・長寿課】

見守りシステムについて

- Q** 高齢者の見守りシステムの現状はどうなっているか。見守りカメラ等の検討は。
- A** 現在、機器について調整中。提案を含め検討する。

【生涯学習課】

B&Gの体育館設備について

- Q** 非常時避難所としても使用するので、2階にエアコンが設置できないか。
- A** 夏はかなり暑いですが、広いので方法や予算など検討していく。

まちづくり常任委員会

まちづくり常任委員会は、情報企画課、未来創造課、産業振興課、地域整備課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：上原伸介 ■副委員長：中井泰洋 ■委員：芦田 元・須一玲子・定森久芳

【情報企画課】 国際交流員について

Q 年間を通じて、具体的にどのような活動をするのか。

A 料理教室の主催や、文化センターでの英語教室等に行っている。地域での活動を行って欲しいと思い、区長会にも紹介している。

【未来創造課】 ふるさと納税について

Q ふるさと納税事業のなかで、実際にはどのような返礼品に人気があるか。

A トートバッグは以前から好評を得ている。他にもなぎビーフや岡山黒豚、岡山県産フルーツ等がよく出ている。



AKI INOMATA 《昨日の空を思い出す》

森の芸術祭 晴れの国・岡山

9月28日(土)から11月24日(日)まで、森の芸術祭が開催されています。

一奈義町では現代美術館と
すば一く奈義に作品展示されていますー

【産業振興課】 山の駅について

Q 山の駅の今後の管理や経営について、町はどう考えているのか。

A 指定管理も含めて、今年度中に結論を出していきたい。山の駅をもっと身近に感じてもらえるよう改善していきたい。

【産業振興課・未来創造課】 ふるさと納税の返礼米価格について

Q 他の自治体では、米の買取価格が高めに設定してある。本町における令和7年度産、8年度産についての考えは。

A 農家の安定的経営という観点で考えている。米価が下がっても、一定の基準以上で買い取りたいと考えている。

決算特別委員会報告

決算特別委員会とは

- ・予算が適正に使われたかどうか確認する。
- ・各種資料に基づき、効果や成果について評価する。
- ・必要に応じて来年度の予算に向けて意見を述べる。

9月11日、12日、決算特別委員会を開催。一般会計は賛成多数、特別会計6件と公営企業会計3件は全員一致で、すべての決算を認定した。

一般会計

《過疎債について》

問・過疎債にはある程度枠があり、100%借りられるわけではないと思うが、令和5年度、奈義町は希望した金額が借りられたのか。

答・令和5年度は、要望額の満額を借入れることができています。

《インクルーシブ遊具等設置業務について》

問・お金を落とす仕組みづくり、事業費の中で行われているが、インクルーシブ遊具の設置がお金を落とす仕組みづくりにより、どう関係したのか。

答・性別、年齢、障がいの有無にかかわらず、誰でも楽しむことのできる遊具の設置は近隣では初めてのことであり、

大変、好評をいただいている。奈義町に来ていただくことで、町全体にお金が落ちることにつながる。

特別会計、企業会計

《上水道事業会計》

問・老朽化に伴う配管の改修工事を行っているが、改修率はどの程度か。

答・基幹水路の更新状況は55%程度である。

《下水道事業会計》

問・未収金が上水道事業会計に比べて多いのはなぜか。

答・納付期限と会計上の締めが関係している。上水道は3月末、下水道は4月末が納付期限となっており、4月に納付されたものは未収金として計上される。



話題のインクルーシブ遊具

令和5年度 一般会計実質収支と基金額

歳入総額	78億8,523万8,698円
歳出総額	75億8,445万3,225円
実質収支額	2億7,101万2,473円
基金総額	55億1,245万7,388円



小阪 四郎 議員

Q 町としての災害への備えは

A 下水道の耐震管への布設替は完了している



備えある備蓄倉庫

答弁 町長 有機堆肥を使って菜の花を咲かせ、さらに減化学肥料、減農薬に取り

質問 本町の農業全体が継続発展するために、有機堆肥の利用を促進すべきと考え。農家の経営の助けになり、おいしい農産物を育てることで、町の強みにもなる。有機セクターは耕畜連携の要だ。ペレット堆肥は散布が容易なことも強みである。ペレット堆肥製造施設導入を検討しては。



堆肥の袋詰機

質問 令和6年度総合防災訓練が11月10日に計画されている。近年は想定を超える災害が頻発している。そうした事態への対応も訓練に取り入れてはどうか。また、町の備えはどうか。

答弁 町長 町民の皆様も積極的に訓練に参加していただき、避難訓練の時は災害を想定し、

日頃の備えを確認してほしい。巨大地震発生時のインフラ被害への対策として、町内の上下水道基幹管路の耐震化状況は、上水道27・4%、下水道は100%布設替えが完了している。

A 積極的に取り組む
Q ペレット堆肥製造施設の整備は

組むエコファーマーによる菜の花米の栽培を推奨している。有機堆肥の散布の効率化が必要と考えており、堆肥のペレット化が実現すると、小型散布機で小規模な圃場等へも散布がしやすくなり、農家の有機堆肥の活用の幅が広がると考える。有機セクターでのペレット化の早期導入に向け、取り組んでいく。



上原 伸介 議員

Q キャンプ場計画中止に伴い、今後「山の駅」をどうしていくのか

A 今年度中には結論を出したい

質問

かねてより計画が進められていた、山の駅周辺事業である「オートキャンプ場計画」について、中止が正式に発表された。山の駅は赤字が続いているが、そのなかで今年度においては、昨年の同時期に比べて前年を上回る収益を上げているとの報告を受けている。これは素晴らしいことであり、現場の方々の努力の賜物であると思う。

ただ、物価高騰や施設老朽化等の問題を抱えながらの赤字脱却というのは、非常に困難であるという印象を受ける。現状で黒字化を目指そうにも、売り場面積や駐車スペース、コテージ数は限られている。そのなかでできることといえば、来店者の回転率を上げるか、売上単価やコテージ利用料を上げるしかない。ところが、回転率を上げようにも駐車スペースが足りない。料金を上げると、回転率は下がり、客足が遠のいてしまいかねない。

これらを解消するには、隣接する所に娯楽施設を設け、山の駅とセットで考えていく。あるいは、登山客をターゲットにシャワー施設を作ったり、休憩スペースを設けてイベントを行う等の対策を図っていくべきではないか。

答弁 町長

山の駅については、今後も引き続き赤字改善に向けた取り組みを行っていく。また、民間の力を活用した業務委託、指定管理制度等も踏まえた検討をしていきたい。

答弁 副町長

いつまでも結果を待ち続けるわけにはいかないと考えている。



トレッキングさと丸

まだ具体的な計画があるわけではないが、今年度中には結論を出したいと考えている。

Q

A L T 事業の取り組み状況は

A

好感触を得ている

質問

本年度から外国語指導助手、通称 A L T の先生が教育現場に加わった。事業開始からまだ半年だが、何か変化があったか。また、目標としてスコア型英語 4 技能テスト、通称 G T E C についての取り組み状況は。

答弁 教育長

英語で話す機会が増えたことで、学習意欲が高まり、コミュニケーションへの積極性も見られるようになってきている。また、先生が複数人いることで、英語が苦手な生徒も質問がしやすい環境になっている。G T E C については、これから実施する予定となっており、県平均以上を目指したいと考えている。



定森 久芳 議員

Q これまでの地方創生の取り組みについて

A 一定の成果があったと思っている

質問 全国の都道府県知事、市区町村長に共同通信社が行った全国自治体調査（アンケート）で、「地方創生68%成果不十分」「人口減 単独対策に限界」という記事があったが、奈義町はどのように回答したのか。また、奈義町の10年間の地方創生の取り組みに対する検証と今後の考えを問う。

答弁 町長 地方創生事業の取り組みは一定の成果があった、と考えている。以前、奈義町は消滅可能性自治体に該当していたが、地方創生の取り組みを10年間続けてきた結果、全国的にも子育て支援の町としての知名度を上げ、今年発表された、地方自治体持続可能性分析レポートでは、若年女性減少率が45・3%となり、消滅可能性自治体から脱却することができた。

人口を維持するために、今までやってきた子育て支援、産み育てやすい魅力ある教育の町を引き続きやっていく。また、高



登山道入り口にある注意看板

Q 熊出没に対する対応は無線放送やUSAGIメールで注意喚起している

年齢の皆さんが最後まで安心して過ごせる住みやすい町を作っていく。

質問 隣の旧勝北町の声ヶ嶋森林公園登山道入り口付近で、ツキノワグマによる人身被害が発生し、他人ごとではなくなってきた。人身事故が起こる前に、町として具体的な対策を講じるべきだと思うが、対応を問う。

答弁 町長 県北11市町村や警察、猟友会が集まり、ツキノワグマ人身被害対策会議が開かれ、今後の対応について協議した。町では、熊出没の一報を受けた際には、注意喚起の無線放送やこども園、小・中学校の保護者へUSAGIメールを配信するとともに、追いつきの実施、注意看板や箱わなの設置を行っている。人の生活圏に繰り返し出没した場合等は、原則として殺処分を行っている。今年度は指定管理鳥獣となり、5頭の処分を行っている。



森藤 政憲 議員

Q ALTプロポーザルの業者得点を改ざんしたのでは

A 計算の表記ミスで申し訳ない

質問 今回の監査請求の結果にA社の得点は408とあったが、以前もらった資料の点数は、416点であったと思う。改ざんではないか。

答弁 町長 当時、計算表記のミスであった。担当課のチェックで見つかった。申し訳なく思っている。

質問 プロポーザル実施要項には見積限度額が一切、示されていない。なぜ示さなかったのか。

答弁 町長 予算がまだ定まっていないうちの事業である。また、価格のみを評価する競争入札ではない。総合評価なので見積限度額を設定していない。

質問 全国のプロポーザルを調べると、ALTの条件として、ほとんどが日本語が分かる人となっている。奈義町はなぜ、日本語の条件をつけなかったのか。

答弁 町長 日本語が必須条件とはなっていない。ALTが必ず日本語を話す必要はないと私は考えている。

質問 アチーブゴールの、派遣で地方交付税が措置され奈義町の負担が軽くなる、との提案は事実でなかった。それは間違いないか。

答弁 町長 国からの見解で事実ではなくなった。

質問 町長は、交付税が派遣で出ていたと言うのであれば、この自治体で出ていたのか証明すべきだ。

答弁 町長 過去にさかのぼってという事になると、交付税の返還命令が起きるかもしれない。他の自治体に迷惑をかける事となり、言明は控えたい。

Q 町の地方創生事業には、いくら使われ、それに見合う効果があったのか

A 消滅可能性自治体から脱却できた

質問 奈義町の地方創生事業にはこの間、いくら使われたのか。また、それに見合う効果はあ

たのか、町長の評価を伺う。
答弁 町長 この間、20億7600万円使った。効果は、消滅可能性自治体から脱却できた事である。

質問 ナギテラスは、起業の誘発、ベーカーリーが来るなどの目的があったが、これができているか。

答弁 町長 ベーカーリーは誘致に至らなかった。第三の居場所として、人が集える場所として造った。

Q 行政報告で、なぜ、オートキャンプ場中止を言わなかったのか
A 現在の取り組み等を中心に報告した

質問 町長はオートキャンプ場の中止を言わなかった。重大な決定をなぜ言わなかったのか。

答弁 町長 現在、取り組んでいる事業やこれから予定している取り組みを中心に報告した。



中井 泰洋 議員

Q 空き園舎の活用は

A 放課後児童クラブ、地域活性化施設として

質問

以前質問した際、「空き園舎の先進事例調査や既存施設との連携と役割分担、長期にわたって利用できる施設となるための将来性、維持管理や運営費の捻出、持続性などについて検討を進めている。」との答弁があったが、検討はどこまで進んでいるのか。

答弁 町長

保育園については、

児童の安全・安心と送迎の利便性から、放課後児童クラブにリニューアルするため、現在、年内完成に向けて改築工事をしている。

幼稚園2園については、子どもから高齢者まで幅広い世代が気軽に集うことができ、人口維持、活性化していくことを基本方針に検討してきた。

滝川つくし幼稚園については第三の居場所として気軽に集い、生産・交流活動、生涯学習、健康づくり等ができる多目的施設となるよう、改修計画をしては、との案が出ている。また、施設

の一部に、しごと園の事務所兼作業所を移設し、日中の管理運営を行い、気軽に使用できる施設に整備する案もある。

中央東幼稚園については、土砂災害警戒情報発令時などの際に、宿泊のできる避難場所として活用するとともに、平時はB&G総合運動公園施設と連携したスポーツ合宿、林間学校、通学合宿等の受け入れができる防災宿泊施設としての案が出ている。

2園共通になるが、消防団改編計画に基づき、北吉野・豊並地域の防災拠点施設、消防機庫等の整備も検討していきたい。



国道高円地区の狭小歩道

Q 高円から行方にかけての歩道整備は
A 意見をまとめ県に要望する

質問

高円地区から行方地区にかけて国道の歩道整備が不十分に思われる。今後の整備予定はあるのか。

答弁 町長

当区間については、

すでに南北両側に歩道が整備されているが、北側歩道については狭小歩道となっている箇所があること認識している。必要な場所については意見を取りまとめ要望していきたい。

質問

町内に設置されている信号機は、設置当初と状況が変わり利用頻度にも変化があると思う。必要に応じて設置場所が適切か検討すべきではないか。

答弁 町長

設置については周

辺住民、関係者の総意でなければならぬ。通学路点検も踏まえて検討する必要がある。

Q 現在の町の財政状況、貯金（基金残高）と借入金（地方債残高）の関係は



野々上美智明 議員

A 令和5年度末（昨年度末）で貯金の方が2億7千万円上回っている

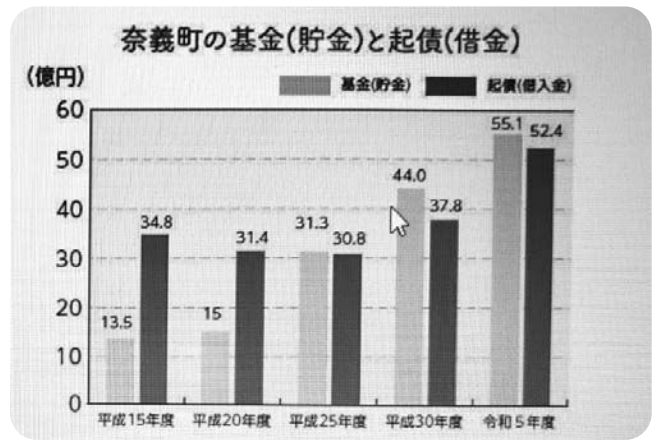
質問 現在の町の財政状況、貯金（基金残高）と借入金（地方債）の残高の関係、主要な基金の評価を伺う。

答弁 町長 令和5年度末（昨年度末）の基金残高（貯金）は、55億1千万円、地方債残高（借入金）は、52億4千万円となっております。貯金の方が2億7千万円上回っている状況であり、4年度末の時点で、県下で貯金の方が上回っているのは奈義町のみである。

基金は全部で17の基金をもっているが、公共施設整備等の基金20億円、財政調整基金16億2千万円、減債基金4億2千万円など、基金に目的を持たせて、積立が計画的にできている状況である。

質問 来年度以降の財政状況の推移予測は、どのようなになるか伺う。

答弁 町長 中学校の建替えなどに伴い過疎債等の借入れが増え、令和6年度末に、本町も



広報なぎ10月号より

地方債（借入金）の方が基金（貯金）を上回る見込みとなる。しかし、過疎債を借りた場合に、その7割が交付税算入されることを加味すると、実質の借入金は現在15億3千万円で、約40億円の貯金がある事になる。

また、町の財政を圧迫する可能性の度合いを示す将来負担比率は、借入金返済に向けた貯金が、既に確保されていることからゼロである。これからの人に負担してもらおう借入金は無い。

Q

今回の一連の報道（契約書不存）を踏まえ、いかに取組まれるか
A 職員とともにより良い職場環境を作る

質問

ALIT関連契約書の不存報道を踏まえ、職員の勤務環境に責任を有する立場から、いかに取組まれるか伺う。

答弁 町長

町民の皆さんにご心配をおかけして、申し訳なく思っている。嫌がらせに対しては、職員を守るために組織で対応する必要があると考えている。毅然とした態度で臨むことができれば、一人では対応しない、必要ならば録音をさせてもらう、この事を守るように対応させたい。職員は一所懸命に今取り組んでいる。誇りをもって、そして働きやすい職場となるように、職員とともに、より良い職場環境をつくっていく。



須一 玲子 議員

Q この町で高齢者の生活を守るための対策は

A 住みなれた地域で安心して暮らせる町にしたい



ここをなおして欲しい

答弁 町長 町民参加のイベントや地方創生事業を活用した特別なイベントなどを計画している。文化センターの椅子の改修やバリアフリー化を充実させたことにより、高齢者の方々にも安心して利用してもらいたい。

答弁 町長 町民皆さんの声をしっかり施策に反映させていきたい。色々などところに出かけ、皆さんの声を聞くことに努めていきたいと思う。町民の皆さんの力もお借りして、高齢者の方々も最期まで奈義町で安心して暮らせるということが一番だ。

質問 特に一人で暮らしている高齢者の住まいの修理や生活についての相談場所は。
答弁 町長 町として保健相談センターで相談を受け付けている。保健相談センターには社会福祉協議会があり、高齢者の皆さんが安心して暮らせる環境づくりの支援をしている。

質問 町政施行70周年の取り組みとこれからの町づくりについて、文化センターの椅子改修のお披露目を兼ねて、文化センターで文化活動をされている方を中心としてイベントなど行ってはどうか。

Q 町政70周年記念をどのようにするのか
A 町民皆さんの心に残るものにしていきたい

Q 奥町長2期目のスタートから1年7か月。町民の厳しい声に対して私の政治信念はみえる・きける・わかる町づくり

質問 華やかな町になってきた。しかし町民の中には財政について心配する声もある。町民にとって誇れる町、町民が愛する町、本当に良い町となるためには、もっと町民の声を聞き、話し合うことが必要ではないか。町民とともに奈義町を良くしてもらいたい。



芦田 元 議員

**Q ふるさと納税の米は生産者
みんなが参加可能に**

A 研究して対応を考えたい

質問

農産品目の中で米生産は大きな比率であり、ふるさと納税を活用して農業振興に繋がるよう、取り扱い要領を（春先に）広報して周知する等、みんなが参加できるような不公平にならない対応を。

答弁 副町長

今後の検討課題とさせていただきます。

Q 新たな「農業基本法」の改正に伴う奈義町の方向は

A 所得確保の取り組みを行う

質問

奈義町の農業基盤を強化するため、農産品目の特産化への対策の検討は。魅力ある産地化を進め、地域の資源や観光事業も含め、将来計画を具体的に策定願いたい。

答弁 町長

特色あるものをつくって、売っていく手伝いをする必要があると思うている。所得が上がるよう支援する。

Q 担い手の育成・確保の施策はあるか

A 対応を検討していきたい

質問

若い人が農業で生活できるか否かにかかっている。県の就農助成にプラス奈義町独自の対策で、地域農業の維持発展のため自立できるまで支援すべきではないか。

答弁 町長

集落営農の組織化やふるさと納税の活用など、少しずつチャレンジしていきたい。

Q 障がい者総合支援等の体制整備を

A 保健相談センターで対応

質問

国が努力義務化している「基幹相談支援センター」と「協議会」を設置し、円滑に活動できるように、早期に実現願いたいどうか。

答弁 町長

現状では、保健相談センターで対応していく。

Q 障がい者の雇用・就労の支援を

A 関連組織と連携し、強化を図る

質問

障がい者福祉の中で雇用・就労が重要であり、町内にも専門的な指導ができるB型事業所が開設されている。奈義町独自の就労支援の強化について、考えはどうか。

答弁 町長

今年度就労支援B型作業所として湧気自然塾等が開設されている。障がい者の居場所なども含め、関係組織と連携し強化を図りたい。



野外で農作業中



岡 立 議員

Q 奈義町が管理するトイレの状況と今後について

A 引き続き改修を計画的に進める

質問 町が管理するトイレの現状を、どのように認識しているか。

答弁 町長 町内には18施設にトイレがあり、建物自体が老朽化していたり、野外に設置している所は、虫が入って汚れの要因となっている所もある。

質問 トイレは、明るく清潔であってほしい。それには掃除やチェックが必要。この事はすぐにできるのではないか。

答弁 町長 ハードルの高い事だと思ふ。設備の更新等にはしっかり取り組んでいきたい。

質問 トイレの使い方について、学校などでも勉強する時間はあるのか。

答弁 教育長 特別活動の時間の中で学んでいるが、大人も率先して手本を示し、みんなできれいにしていきたい。

質問 今後の改修などの計画は。
答弁 町長 壊れた所を直すとともに、時代の要求に従って生活様式も変わるので、そういっ

た事への対応も順次計画していきたい。

Q 楽しくできる農業を目指すには

A 本当に難しい問題。集落営農に入り経験を積むのも策

質問 あまりにも過酷な、今年

の夏の暑さの中の草刈り作業などを見てみると、この苦勞が何とかならないか、苦しさばかりの農業では、後継者もできにくく、農業は衰退してしまう。何とか助けになる支援ができないか。

答弁 町長 支援策は、いろいろある。まずは役場産業振興課が窓口となるので、相談して欲しい。必要に応じて農業普及委員会、県の農業普及指導センター等につなげる。

質問 10年先に農業を、土地を守っていく人がいるか、危機感を感じているが町長の思いは。
答弁 町長 本当に難しい問題だが、希望があれば集落営農に入っ

元 気 に 農 業



議員研修の報告

D X 研修会
デジタル技術の
活用について研修

今年度、議会として、D X について研修会を開催しています。

D X の基本を理解し、議会運営や業務における具体的な D X の適用方法を考察することを目的に、全 4 回計画し、この間、3 回研修を行いました。

第 1 回 (7 月 19 日)
D X が必要な社会的背景

第 2 回 (8 月 23 日)
国の動向と奈義町の取り組み

第 3 回 (10 月 3 日)
D X に取り組む地方議会の動向



7 月 19 日 D X 研修会

県町村議会 議員研修会

質問の仕方などを研修

8 月 5 日、岡山県下の町村議会議員を対象に、「政策提言につながる質問の仕方」と「町村議会におけるデジタル技術活用について」をテーマに研修を行いました。特に一

般質問を活用した政策提言の仕方について学び、一般質問の重要性を研修しました。



表紙の写真

山の駅から見上げた 10 月上旬の那岐山です。

編集後記

例年になく暑い暑い毎日から、やっと過ごしやすい季節になりました。9 月議会を終え、町民の皆さんに議会での議員の声が届いているのか、と心配しながらの議会だよりの編集です。各議員の活動、発言が少しでも町民の皆さんに理解して頂けるように、議会だよりに見て下さればと思います。70 周年を迎え、住みやすい町になるように、がんばりたいと思います。

(須一 玲子)

【編集委員】

委員長	森藤 政憲
副委員長	芦田 元
委員	須一 玲子
	定森 久芳
	野々上美智明
議長	岡部 英生